
平成28年度（2016年度）
吹田市市政モニタリング調査報告書

平成29年（2017年）3月

吹 田 市

目 次

調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査対象	1
4. 調査時期	1
5. 調査方法	1
6. 回収結果	1
調査結果	
標本構成	3
1. 居住地域（問2）	3
2. 性別（問49）	4
3. 年齢層（問48）	5
4. 職業（問50）	6
5. 通勤・通学地（問51）	7
6. 年間収入（問54）	9
(1) 回答者自身の年間収入	9
(2) 回答者の世帯の年間収入	10
7. 住宅の種類（問55）	11
8. 世帯構成（問52～問53）	12
地域との関わりについて	15
1. 居住年数（問4）	15
2. 直前の居住地（問5）	17
3. 永住意識（問6）	19
4. ふるさと意識（問7）	21
第1章 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について	23
1. 地球温暖化の認知度と重要性（問8）	23
2. 生物多様性の認知度と重要性（問9）	26
3. 太陽光パネルの設置予定（問10）	29
4. エネファームの導入予定（問11）	30
5. 電力の契約先の変更予定（問12）	31
6. 電力会社の選択基準（問13）	32
7. 冷蔵庫の購入時期（問14）	34
8. テレビの購入時期（問15）	35
9. 行っている省エネ行動（問16）	36
10. エコドライブの認知度と実践有無（問17）	38

第2章	大型複雑ごみの電話申込み制による収集及び雑がみの分別について	41
1.	粗大ごみの電話申込み制の賛否（問18）	41
2.	資源ごみとしての分別の有無（問19）	43
第3章	窓口等での手続きの効率化について	45
1.	インターネットでできるとよい手続き（問20）	45
2.	マイナンバーカードでできるとよい手続き（問21）	47
3.	プッシュ型で提供してほしい情報（問22）	49
第4章	ITの利用状況について	51
1.	インターネットのサービスで今後さらなる充実を望むこと（問23）	51
第5章	市の情報化を優先すべき分野について	53
1.	市役所業務で優先して進めるべき分野（問24）	53
第6章	文化・芸術活動について	55
1.	関心のある芸術・文化の分野（問25）	55
2.	芸術・文化の満足度（問26）	56
3.	芸術・文化への関心を満たすうえで最も問題となること（問27）	57
4.	「吹田の文化」としてイメージするもの（問28）	59
5.	文化会館に最も望む役割・機能（問29）	61
6.	吹田市内の文化施設の満足度（問30）	62
7.	文化振興・文化活動のための文化会館の必要性（問31）	63
第7章	図書館利用について	65
1.	吹田市の図書館の利用状況（問32）	65
2.	一度も図書館を利用したことがない理由（問32-1）	67
3.	現在、図書館を利用していない理由（問32-2）	69
4.	図書館への要望（問33）	71
第8章	市民自治について	73
1.	「協働」という言葉の認知度（問34）	73
2.	吹田市自治基本条例の認知度（問35）	74
3.	市民から審議会委員の応募が少ない理由（問36）	75
4.	自治会の加入有無（問37）	76
5.	自治会活動への満足度（自治会加入者）（問37-1）	77
6.	自治会未加入の理由（問37-3）	78
7.	自治会の必要性（問38）	80
8.	自治会の必要性を感じる理由（問38-1）	82
9.	市民自治についての満足度・重要度（問39）	86

第9章	住宅用火災警報器設置状況について	89
1.	住宅用火災警報器の設置義務の認知度（問40）	89
2.	住宅用火災警報器設置義務の情報源について（問41）	91
3.	住宅用火災警報器の設置状況（問42）	93
4.	住宅用火災警報器の設置場所（問42-1）	95
5.	住宅用火災警報器の購入先（問42-2）	97
6.	住宅用火災警報器を設置していない理由（問42-3）	99
7.	火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（問43）	101
8.	住宅用火災警報器の定期点検の認知度（問44）	103
9.	最近半年以内の住宅用火災警報器の作動確認の有無（問45）	104
10.	住宅用火災警報器の作動確認の結果（問45-1）	105
第10章	ひきこもりについて	107
1.	家庭内のひきこもりの有無（問46）	107
2.	ひきこもっている人の年齢（問46-1）	108
3.	ひきこもっている人の性別（問46-2）	108
4.	ひきこもり期間（問46-3）	108
5.	ひきこもりになったきっかけ（問46-4）	109
6.	ひきこもり状態について相談する意思の有無（問46-5）	109
7.	相談機関への希望（問46-6）	110
8.	相談したくない理由（問46-7）	110
9.	知っている相談機関（問47）	111
資料	調査に対する意見・感想	113
資料	調査票	115

調査概要

1. 調査目的

市民参画のまちづくりのため、市民の意見をうかがうことにより、その声を市政に反映することを目的とする。

2. 調査項目

居住地域、居住地域の小学校区、居住年数、以前の居住地、永住意思、ふるさと意識、地球環境問題（地球温暖化、生物多様性）について、大型複雑ごみの電話申込み制による収集、及び雑がみの分別について、窓口等での手続きの効率化について、ITの利用状況について、市の情報化を優先すべき分野について、文化・芸術活動について、図書館利用について、市民自治について、住宅用火災警報器設置状況について、ひきこもりについて、属性（年齢、性別、職業、通勤・通学地、配偶者の有無、同居家族、家族数、年収、住宅の種類）、調査への感想

3. 調査対象

- (1) 調査地域：吹田市全域
- (2) 母集団：2016年7月1日現在18歳以上85歳未満の吹田市在住者294,592名
(内訳：日本人290,203名、外国人4,389名)
- (3) 計画標本：2,000名
- (4) 抽出方法：層化系統無作為抽出法

4. 調査時期

2016年8月5日（金）～9月5日（月）

5. 調査方法

郵送調査法（お礼状兼督促状を1回送付）

6. 回収結果

- (1) 回収票数 1,207
- (2) 無効票数 10
- (3) 有効票数（率） 1,197（59.9%）
- (4) 調査不能票数 793